

MESSAGE 私の旅

私は父の関係で生まれはフランスですが、小さい頃から四国や神戸で暮らし、いろいろな世界を見てみたいと夢見る普通の日本の子供でした。勉強よりも役者になりたくてOSK日本歌劇学校に通い、これからという時に神戸で震災に遭いました。そこで役者は一度断念したのですが、世界ふしぎ発見のミステリーハンターのオーディションに受かり、そこから私の旅が始まりました。

当時は、なかなか海外旅行に行けない頃で、それを仕事で海外に行けるありがたさみたいなものを感じて、最初はただ楽しく飛び回っていました。私はエジプトにはなぜか縁があって5回も行っているのですが、最初の訪問時に空港で預けた私のトランクが現地に着かないトラブルがありました。そのトランクには翌日からのロケの衣装が入っていたので困っていたところ、ADさんがクレオパトラの衣装だけは持ってきてくださっていて、ちょうどクレオパトラのロケだったので、クレオパトラの格好で日中いることになりました。するとどこに行ってもVIP待遇を受けて、私とカメラマンさん2人で普段は入れないクフ王のピラミッドの中に入ることができました。汗まみれになりながらもロケをしてピラミッドから出ると、ディレクターさんから一言、「クレオパトラとクフ王は時代が全然違うから必要ないよ」と言われて、「これはもっと勉強しなきゃダメだな」と思ったことを今でもすごく思い出します。

番組内でクイズを出しているけれども、よくよく考えたら自分は歴史にもそれほど詳しくなく、例えばパルテノン神殿を見て、「あの柱がエンタシスという丸みを帯びた柱でこれはどうしてこういう形なのだろうか」とか、「ノートルダム大聖堂も場所によって作りがそれぞれ違うのはどうしてだろうか」と、実際のところよく知らないこと

もたくさんありました。難しい言葉をどうしたら子供が見てもわかりやすく、興味を持ってもらえるだろうかというのも気になり始めました。また、レポーターとしてクイズを出すことも最初はただ楽しんでいましたが、自分がどう思うか、自分がそれを見て感じたことと台本に書かれていることが案外違っていることも出てきました。

そこで少し勉強してみようと思い、世界遺産の本を読むとそれがすごく楽しく、このことが後に世界遺産検定を受けることにもつながりました。少しずつでも知識を得たいと思って興味を持って勉強すると、これまで経験した旅の中で、日本の文化と世界の文化の違いは、歴史、環境、宗教等が複雑に関わってきていることがわかってきて、自分の中にあった小さな固定観念がどんどん崩れていきました。

ある時ロンドンの大英博物館に行くと、そこにギリシャのパルテノン神殿の彫刻が展示されていて、自分で調べ

てみると、そこに戦争や歴史の背景が見えてきて、改めて大英博物館の収蔵品の由来に気付かされました。そのようなことが少しずつ分かってくると、例えば世界最古の木造建築の法隆寺が、同じエンタシスであるパルテノンの柱と似たような形で作ってあるということがわかってきて、私なりに、ゆっくりと知識が重なってパームクーヘンのように層が重なっていく感じがしてきました。

本当に何がきっかけで、人生が変わるかわかりません。それが日本で変わる方もいれば、海外に行ってから変わる方もいらっしゃるし、もしかしたら素敵なお相手と出会う方もいらっしゃるかもしれません。自分が今までこうじゃないかと思っていた固定観念をいい意味で崩すような新しい発見をさせてくれるのが、やっぱり旅の醍醐味であり、私はそういう繋がりがあってますます面白いこと、まだまだ知らない所を色々発見しながら、旅をして勉強している日々です。



エジプトにてラクダのスマイル発見!



瀬戸 カトリーヌ
SETO Catherine

プロフィール
1976年1月5日フランス・パリ生まれ。
1995年OSK日本歌劇学校卒業後、三谷幸喜や宮本亜門の舞台に多く出演している。TBS「世界ふしぎ発見!」ではミステリーハンターを17年務めた。
2019年2月には世界遺産検定で1級を取得。近年では、舞台「斑鳩の王子-戯史聖徳太子伝-」(24年)「レオポルトシュタット」(22年)等、TV「旅する地球レストラン~Traveling The Earth Restaurant~」(「日本史の新常識」(共にBSフジ)ではナレーションを務めている。